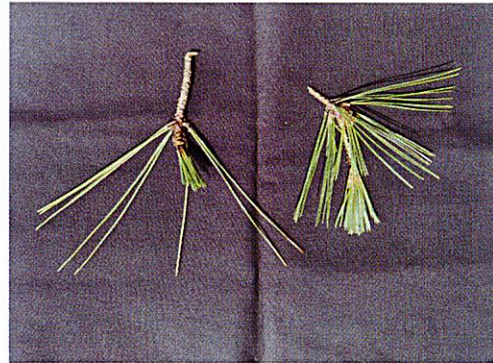


松は昔から行事や祝事に用いられ、建築材などに利用されてきた日本人に最も馴染みのある木のひとつ。日本では樹皮の赤いアカマツと樹皮の黒いクロマツが代表格です。アカマツは広く山地に見られるのに対して、クロマツは海岸部を中心に分布します。葉は針状。アカマツは先端を触ってみると細くて柔らかく痛くないですが、クロマツの葉はアカマツより大きく固く、とても痛くて凶器のようです。アカマツはその優美さから「雌松(めまつ)」「女松」、クロマツは雄々しさから「雄松(おまつ)」「男松」と呼ばれています。立派なアカマツ林が有名な県民の森ですが、クロマツは第二駐車場の横に位置する「都道府県の森」に植栽されており、アカマツと比べて観察することができます。



【左】クロマツの樹皮 【右】アカマツの樹皮



【左】クロマツの葉 【右】アカマツの葉



「都道府県の森」のクロマツ 2024/6/1



【昨年受粉した若い実】アカマツやクロマツの実を受粉したその年には熟さず、翌年の秋に熟す2年型。2024/4/8



【雄花】多数の雄しべがらせん状に付き、大量の花粉を出す。2023/5/19



【実】2年目の秋に熟し、種を飛ばしたあとも枝に残ることも多い。実はアカマツよりクロマツの方が大きく立派。2021/12/5

県民の森 3月のイベント

早春の森さんぽ

2025年3月15日(土)

10:00 ~ 12:00 (昼休憩無)

【定員】10名

【参加費】500円

【集合】森林ふれあい学習館

残雪のなかをゆっくりと歩いて、膨らんできた冬芽などを楽しみ、岩手山麓の早春を味わいます。

※積雪状況により、スノーシューを履く場合があります。お持ちの方はご持参ください。スノーシューレンタルは、別途1,000円(ダブルストック付)です。

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092



森林ふれあい学習館 ギャラリー展示

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

岩手菌類研究同好会(いわてきのこ会) 顧問 吉田勝治 撮影

企画写真展 ~身近なキノコたち~

2024年11月8日(金)~2025年2月24日(月・祝)

キノコに出会うには、ちょっとしたコツがある。

岩手菌類研究同好会(いわてきのこ会)からのメッセージ

当会は昭和45年に結成し50年以上活動している同好会です。主な活動としては、勉強会、きのこ採取会を年数回、盛岡市大通りでの展示等を行い会員同士の親睦を図りながら楽しくきのこについて研究しています。一般の方々へも写真展示会などできのこについてお知らせしています。現在会員は33名です、ぜひ一緒にきのこを楽しみませんか？



岩手県森林公園

県民の森だより

2025. 2 Vol.229

発行 岩手県民の森 (公益社団法人 岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



みんなの広場から望む黒倉山 2024/2/4

県民の森の「みんなの広場」からは岩手山とその右側に迫力ある姿の黒倉山を望むことができます。険しい岩稜が連なる黒倉山は、雪を湛えることにより、神々しく厳かにも見えます。活発さを増し始めた火山活動は、脅威であると同時に、自然が生きていることを思い起こさせてくれます。

※現在、岩手山の噴火への警戒態勢(噴火警戒レベル2)のため、両山とも入山することができません。

岩手県民の森 管理事務所

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストi

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間：9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter) @forest_iwate



冬の楽しみ つる性の木

冬の森を歩いていると、「つる性」の木々が目に付きます。「つる性」の木は、他の木をよじ登り、光がよく当たる高いところで葉を広げて生活しています。冬は落葉しているのですが、つる本体の樹皮や、よじ登り方がよく観察できます。登り方は種類によって異なり、「くつつく」「巻きつく」「絡みつく」など、それぞれ工夫していて感心します。この冬「つる性」の木に親しんでみませんか？

① 付着根でくつつく



2023/1/17 つる性の紫陽花、ツルアジサイの付着根。本体から鬚のように出ていて、木の幹にくっついてよじ登ります。

ツルアジサイ



2023/2/8 ツルアジサイの冬芽。【上】2023/6/21 花（装飾花は4枚）水滴型で美しい冬芽です。【下】2022/2/23 雪面に落ちたドライフラワー

③ 巻きひげで絡みつく



2020/3/31 ヤマブドウは、コイルのような巻きひげを伸ばして、他の木からみついでよじ登ります。

ヤマブドウ



2021/2/24 外側の樹皮は長く裂けて垂れていることが多く、同じく山に多いサルナシと見分けられます。古くからツル細工として利用されてきました。

ツタウルシ



2022/3/3 枝先に裏革のような質感の冬芽。丸いのは実。冬は実の外果皮が取れて、縦縞の入った白い内果皮が目立つようになります。かぶれることで有名ですが、実や紅葉は美しく、触らないように注意しながら楽しみたい木です。

【上】2024/5/6 若いツタウルシ。地面を這うことも多く、まるで草のようなので注意が必要です。【下】2023/10/16 ツタウルシの紅葉

イワガラミ

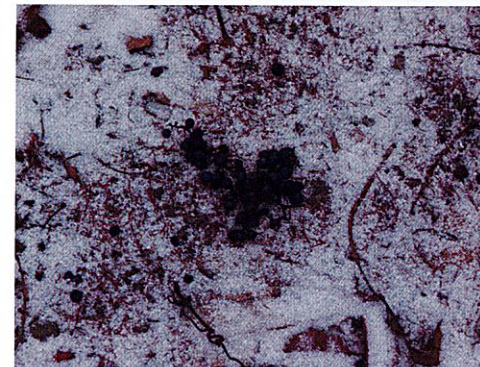


2021/12/29 アジサイの仲間でツルアジサイと似ていますが、冬芽と葉痕が王冠を被った人の顔のように見えるので、見分けられます。また装飾花がイワガラミは1枚、ツルアジサイは4枚なので、雪面に落ちているドライフラワーを探してみるのも楽しいです。

【上】2022/7/10 花（装飾花は1枚）【下】2022/3/10 雪面に落ちたドライフラワー



2024/9/8 山のブドウは甘酸っぱくて美味しいです。八幡平市では栽培も盛んです。



2022/12/1 雪面に落ちた実。冬まで残っている実は甘味が増します。



2024/4/20 春、卵型の冬芽が割れて、ピンク色の新芽が出てくる様は衝撃的です。

県民の森 冬のアクティビティ

冬、県民の森は一面の雪景色となります。八幡平は本州でも雪質が特に良いことで有名、極上のふかふかの雪のなかをスノーシューで散策します。スノーシューは雪の上を歩くときの道具。深い雪でもスノーシューを履いていると浮力があるので、快適に歩くことができます。無雪期には笹藪で歩くことができない場所でも、スノーシューならどこへでも行かれるので、雪上の動物の足跡を辿ってみることもできます。県民の森で美しい雪景色を楽しみませんか？

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

●スノーシュー、ソリ・レンタル

【時間】9:00～16:00
【料金】スノーシュー 1,000円（ダブルストック付）
ソリ（大）500円 / ソリ（小）100円
スノーチューブ 600円（3時間）

道具がなくても、レンタルがあるので大丈夫。スノーシューが初めての方は、履き方、歩き方からお教えしますのでお声掛けください。この冬、スノーシューデビューしませんか？ご予約がお勧めです。



●県民の森スノーシュー冒険ツアー

【開催日】2月9日（日）
【時間】9:30～12:00
【参加費】1,500円（スノーシューレンタル別途1,000円）
【定員】10名（小学3年生以上対象）

スノーシューを履いて、無雪期は笹藪で行くことのできない秘密の場所へご案内。動物の足跡や冬芽を観察しながら、冬の県民の森を満喫します。

※若手山噴火警戒レベルが下がり、七滝登山道閉鎖が解除された場合は「七滝氷瀑スノーシューツアー」を開催します。



② 本体で巻きつく



ツルウメモドキ

2024/2/23 蛇のように木に巻き付いてよじ登ります。ツルウメモドキの樹皮は特徴的な皮目があるので、わかりやすいです。秋にできる実は黄色と赤色で鮮やか。花材やクラフト材料として人気です。雌雄異株。



サルナシ

2021/3/18 美味しい小さな実ができるサルナシ。ヤマブドウと似ているように見えますが、サルナシは本体が巻きつく、樹皮がうろこ状に剥がれることで見分けられます。雌雄異株（稀に同株）。

